

(提案者：大林組グループ)

■事業実施方針

北海道・札幌の経済活性化や持続的成長を推進する「次世代産業交流拠点」として、

- ・ 主催者・出展者・来場者が求める快適性・利便性・滞留性に優れた「何度も選ばれる展示場」
- ・ 風致地区の特性を活かした環境重視型のサステナブルな「Nearly ZEB 展示場」

をつくり、施設運営者と緊密に連携して産業イノベーション促進や新たな賑わい創出に貢献します。

■建物概要



《整備概要》

- ・ 構造・階数 : 鉄骨造、地上2階、最高高さ: 14.99m
- ・ 建築面積 : 約24,000㎡
- ・ 工事期間(予定) : 令和7年(2025年)9月～令和9年(2027年)9月供用開始(予定)

《施設構成》

- ・ 展示ホール : 約15,000㎡、
- ・ エントランスホール
シビックモール
: 約3,000㎡



■建物配置計画

《敷地内配置イメージ》



- ・ 敷地形状を最大限に活かした配置計画とし、気軽に立寄れる、まちに開かれた施設を実現
- ・ 車両動線を来場者用一般駐車場、バス及びタクシー等車両乗降場、サービス動線と分けし、歩行者・車両動線を分散した明解な動線計画

《外観イメージ

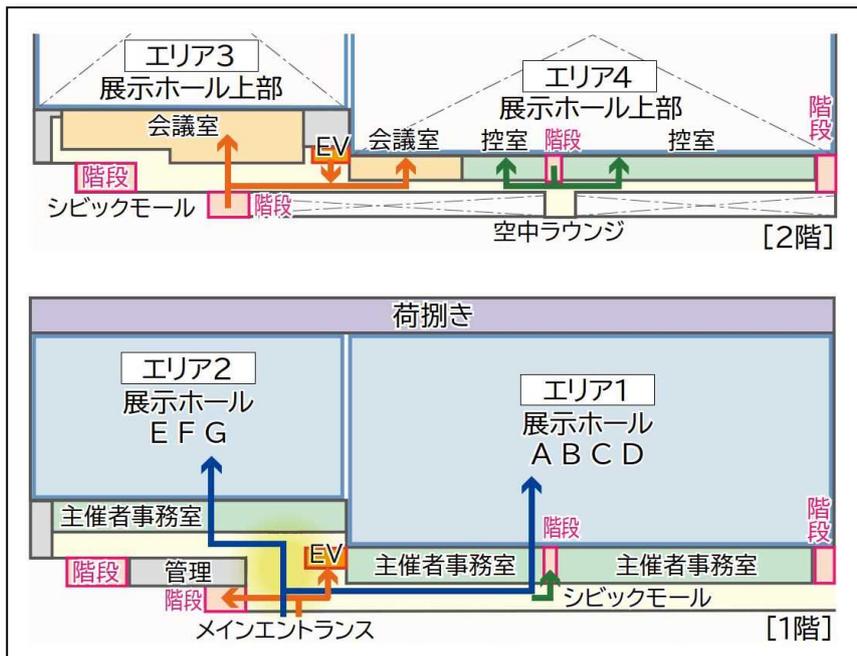
グリーンスクエアをみる(イベント利用)》



※本提案概要は提案時のものであり、今後変更になる可能性があります

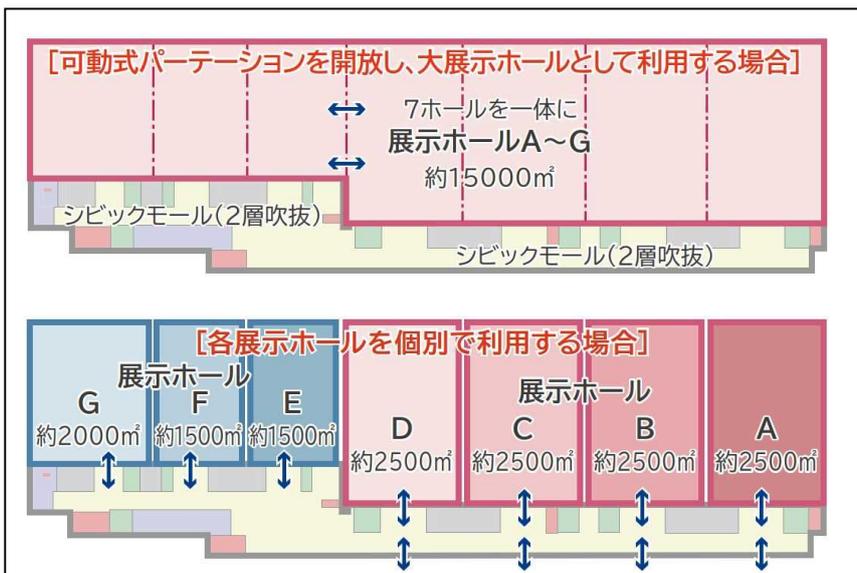
■建物内部の配置計画

《建物内部のゾーニングイメージ》



- ・ 展示ホール ABCD、展示ホール EFG、会議室、控室の4つのエリアに明確にゾーニングして、動線の集中や錯綜を緩和し安全性を向上
- ・ 4つのエリア全てに接続するホワイエ空間となる2層吹抜けのシビックモール
- ・ ユニバーサルデザインにも配慮した明解な構成と動線

《展示ホールのバリエーションイメージ》



- ・ 直列型の7つの展示ホールを一体的に利用可能とすることで、いままでない大規模な展示も可能
- ・ 各展示ホールを個別にも利用可能とし、更に屋外展示場と連携したイベントを開催可能
- ・ 多様な展示面積が選択可能な展示ホールとなり、様々な主催者のニーズに応える施設

《内観イメージ
展示ホール》



※本提案概要は提案時のものであり、今後変更になる可能性があります